

文月 FUMIZUKI

7月

七夕の夜に書物を開いて夜気にさらし、字の上達を願う風習「文披月（ふみひらきづき）」が由来とされています。



2026



7月18日 ナツグミ

野性美・用心深い・心の純潔
グミ科グミ属の落葉高木。果実が春に熟すナワシログミに対し、夏に熟するためナツグミと呼ばれます。

果実には甘みがあり、生食できますが、果皮にタンニンを含んでいるため、甘みと同時に強い渋みも感じます。



7月5日 カジノキ

謙遜・過去の思い出

クワ科コウゾ属の落葉高木。コウゾやヒメコウゾと同様、樹皮を和紙、縄、布等の材料とするため日本へ渡来し、各地で栽培されていたものが野生化しました。

「神に捧げる木」として神社の境内に植えられたり、七夕の飾り（短冊）として宮中で使われたりと神事との関連が深い樹木です。

7月の誕生日の木

7月25日 セイヨウニンジンボク 一途・教訓

セイヨウニンジンボクは、ヨーロッパ南部原産のシソ科ハマゴウ属の落葉低木です。花が少なくなる夏に爽やかな青色で穂状の花を咲かせます。細い葉が朝鮮人参に似ていることから、人参木（ニンジンボク）と呼ばれていますが、チェストベリーやチェストツリーの名前でも知られています。



都道府県の花 ⑦



京都【シダレザクラ】

平安時代から愛され、京都の情緒やおやかさ、芯の強さを表現する花として選ばれました。円山公園の「祇園しだれ」などが有名です。



兵庫【ノジギク】

一見素朴ですが実は、珍しい野性菊です。

11月頃には白くかわいらしい花を咲かせます。兵庫県が、この花が自生する北限・東限といわれています。



滋賀【シャクナゲ】

蒲生郡日野町鎌掛にある「しゃくなげ溪」。谷から斜面に掛けて、約2万本の「ホンシャクナゲ」が群生しています。

シャクナゲは、ツツジ科の高山植物なのですが、この群生地は低地にあることにより、日本固有種とされ、国の天然記念物に指定されています。

大阪【ウメ】

ウメは2月から3月にかけて紅白の清々しい花を咲かせます。古今和歌集に詠まれるなど、大阪にゆかりの深い花です。



7月29日「世界トラの日 (World Tiger Day)」

2010年の国際会議「トラサミット」で制定されました。

絶滅危惧種であるトラの現状を知り、保全のためにできることを考える日です。

世界のトラの生息国が協力して「野生のトラの数を倍にしよう！」と宣言したのです。

今月は虎が付く植物を集めてみました！



トラノオ (サギベリ)

ホルムアルデヒドなどの有害物質を吸収、分解します。他の観葉植物より空気清浄効果が高く、人気のある植物です。



トラノオシダ

細長い葉が湾曲して伸びる様子が「虎の尾」のように見えることに由来します。



ユキノシタ (虎耳草)

虎耳草は生薬としての名です。葉の形が虎の耳に似ていることに由来します。天ぷらにして食べることができます。



オニユリ (Tiger Lily)

鮮やかな花色と黒い斑点がトラの模様を連想させることから命名。日本では、「赤鬼」になぞらえて名前がつけました。